

安全にお使いいただくために

853-811067-005-A 2010年4月初版

安全にかかる表示

本プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。

ここではプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明します。

また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷</u> を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、 <u>少傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	けがを負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止 行為の禁止は「○」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		破損した電源コードは使わないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電や火傷などの傷害</u> が起こるおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <u>火災</u> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電や発火</u> のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 <u>火災</u> の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <u>けが</u> をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 <u>発火</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。

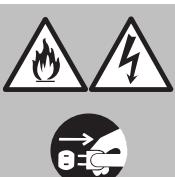
行為の強制 行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものであります。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 <u>火災</u> や <u>漏電</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

プリンター（内蔵部品・オプション品を含む）について

警告

煙や異臭・異音がしたら電源をOFFにする



万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

分解・修理・改造はしない



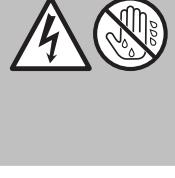
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



本プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。また、通電中にぬれた手で本プリンター側面のインターフェース部や本プリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

火の中に投げ入れない



本プリンターおよび本プリンター内蔵部品を火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

⚠ 注意



100V 以外のコンセントに差し込まない

電源は 100V の電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V 以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



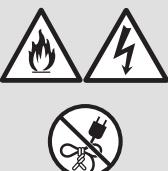
必ずアース（接地）する

万一漏電した場合、火災・感電のおそれがあります。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針などにはアース（接地）を行わないでください。



AC アダプター、電源コードは本体付属品を使用する

付属品以外を使用すると、火災のおそれがあります。



電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



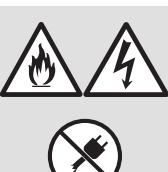
電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよく拭き取ってください。ほこりがたまつたまで、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



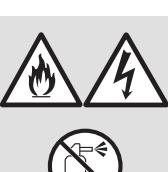
延長コードは使用しない

添付の電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの容量超過により発熱するおそれがあります。



損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



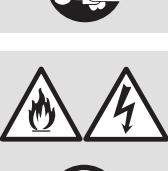
電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



添付の AC アダプター、電源コードを転用しない

添付の AC アダプター、電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンターボディおよび AC アダプターの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。



ほこり・湿気の多い場所で使用しない

本プリンターボディをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



直射日光が当たる場所、温度変化の激しい場所には置かない

本プリンターボディを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



不安定な場所に置かない

本プリンターボディを縦型 OA ラックの上段など不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンターの上に重い物を置かない

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



配線部には触らない

動作中でなくとも、電源が ON になっているときに配線部に触ると、感電するおそれがあります。



高温部品に触らない

本プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、30 分ほど待って十分に冷めてから行ってください。本プリンターの動作直後に触ると火傷するおそれがあります。



指を挟まない

カバーの開閉時に指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



本プリンター内に異物を入れない

本プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



突起物に手などをぶつけない

本体内部の突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



本プリンターを落としたり、強い衝撃を与えるたりしない

カバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡してください。



巻き込み注意

本プリンターの動作中、用紙を交換するときは本プリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはざまれたりしてけがをするおそれがあります。



雷が鳴りだしたら本プリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて本プリンターには触らないでください。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの薬品類で本プリンターを拭かない

火災の原因となるおそれがあります。



移動するときは、電源コードを抜く

接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンターを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない

感電・けがの原因となるおそれがあります。



キャスター付きの台に設置したときは、必ずキャスター止めをする

動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれがあります。



本プリンターのカッターには手を触れない

本プリンターの前面部にあるカッターには、清掃時以外、手を触れないでください。けがの原因となるおそれがあります。



万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に連絡する

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。